



Ai News Paper

Event & Program

エーアイニュースペーパー

2026年8月号/vol.89

制作・編集: Aiスタッフ&パートナー

コウセイ、S・i G・M

■七夕は、みんなで「作る」とさらに面白い



作るところから始まった、3年目の仙台七夕。

みんなのアイデアと手仕事がひとつの作品になりました。

過去2年間の七夕飾り作りを通して気づいたことがあります。それは「七夕祭りは、飾り作りに当事者として関わった方が、断然面白く見ることができる」ということ。掲出3年目となる今年は、Aiスタッフや外部の方々が、制作の過程から関われる七夕飾りを目指して企画・デザインしました。

綺麗なお花の開き方を知れば、他所の薬玉の凄さに気づく。頭を捻って作ったからこそ、表現の巧みさに舌を巻く。完成までの時間との戦いにヒヤヒヤ。完成した時に、ほっと胸を撫で下ろす感覚。飾りの前で思い出を作る人々を眺める喜び。そして、あんなに頑張ったのに、3日間であっという間に取り外されてしまう。あんなに大変だったはずなのに、「来年も作ろうね!」と口走ってしまう。それは飾り作りに関わった人々にしか味わえない、特別な感情。もっと多くの人に味わってもらえたら、仙台七夕はもっともおもしろいお祭りになる!と思いました。



そこで今年は、GW明けに「七夕会議」を開き、みんなで薬玉の色や使う素材を話し合うところから飾り作りをスタート。さらに「ワケあり雑紙部」とコラボレーションしました。市民の皆さんから集めた雑紙を使い、雑紙部のメンバーや市民の皆さんが六つ飾りを制作しました(残りの一つは吹き流しです)。Aiファクトリーでは、吹き流しをアクリル絵の具で手染めし、薬玉は初めて柄作りにも挑戦しました。間には、松並京央子氏のワークショップから生まれたクレイ粘土作品をふんだんに使用しました。Aiスタッフや市民の皆さんが「作る側」として関われる場面が格段に増え、これまでとはひと味違う、皆の表現が詰まった七夕飾りを掲出することができました。

ありがたいことに、今年は金賞、そして七夕コンテストの準グランプリまでいただきました! みんなで作ったものが認められ、より多くの方に見ていただく機会をいただけたことを、本当に嬉しく思います。制作に関わってくださった皆様、投票してくださった皆様、本当にありがとうございました。皆様にとっての仙台七夕が、いつもとはちょっと違う思い出になっていたら嬉しい。飾りが消え、静かになった朝のアーケードを眺めながら、そんなことを思っています。来年の仙台七夕も、みんなで作るところからはじめましょう!(文:佐々木桂)

■「らららこども企画会議」始動しています



「こんな文化祭があったら楽しい!」そんなアイデアを、みんなでカタチにしてみませんか?

楽楽楽(ららら)文化祭は、アートワークショップやステージ、マルシェ、映像祭など、文化センター全館を使って開催する文化祭です。小学生から高校生まで、「やってみたいこと」「こんな企画があったら面白い!」を自由に出し合い、一緒に文化祭をつくります。初めてでも大丈夫。スタッフがしっかりサポートします。あなたの「やってみたい!」

が、文化祭の主役になるかもしれません。仲間と一緒に、みんなが笑顔になれる「ららら文化祭」をつくりましょう!

■仙台市役所建設仮囲いに展示されました

仙台青年会議所主催「SENDAI SDGsウィーク」に向け、仙台市役所仮囲いに「みんなのちがいがおもしろい」をテーマにしたアート作品が展示されています。ぜひ通りすがりにご覧ください。



■「どんまいネットみやぎ」映像プロジェクト

どんまいネットみやぎでは、宮城県内に暮らす高次脳機能障害の当事者の人生や想いを映像で伝える「映像プロジェクト」の特設サイトを公開しました。一人ひとりが歩んできた道のりや日々の暮らし、希望や葛藤を、本人の言葉で丁寧に紹介しています。ぜひ多くの皆さまにご覧いただきたいです。

ギャラリー展示のご案内

Aiギャラリー

■昆虫展/9月15日まで
(SATA、アニマルアーティスト)

TFU カフェテリア オリーブ

■清水敬太展/9月~

びすた〜り榴ヶ岡

■みさこ展/8月31日まで ■諒太展/9月~

cafe JhoJho・びすた〜りフードマーケット

■S・i G・M写真展/9月下旬まで

■オープンスタジオ

8/11(祝・火)・8/30(日)

■オンライン企画Vol.69

8/24(月)「昆虫展」